

仙叟宗室・大樋焼・寒雉釜

【新館開館30周年記念特別展】

加賀藩の御茶堂として、隠居後の三代前田利常と、五代綱紀に仕えた仙叟宗室。40年を越える金沢との関わりの中で、大樋長左衛門と宮崎寒雉を指導して茶道具を作らせ、現在まで脈々と続く金沢の茶道の礎となりました。本展覧会では、大樋焼と寒雉釜の草創期から現在までの作品を軸に、仙叟が加賀藩に仕官するにあたって尽力した父宗旦や、仙叟と同じく前田家に茶を指導した小堀遠州や金森宗和、また加賀藩に召し抱えられた五十嵐道甫や清水九兵衛らの蒔絵師や本阿弥光悦、光甫に関する作品、そして前田家に伝来した茶道具を展示します。

本展覧会は、金沢市と大樋美術館共催で開催します。



焼締茶碗 銘 武蔵野
本阿弥光甫（江戸17世紀）
根津美術館蔵



段々釜
初代 宮崎寒雉（江戸17世紀）
石川県立美術館蔵



〔重要美術品 金沢市指定文化財〕
砧青磁平水指 銘 青海波
龍泉窯（南宋・元12-13世紀）



〔金沢市指定文化財〕
唐物肩衝茶入 蒲生肩衝
（南宋・元13-14世紀）

INFORMATION

大樋美術館開館30周年記念
特別企画展

—仙叟（裏千家四代）が観た加賀の工芸—
前田家と千家、光悦・空中、そして長左衛門
会期：令和元年8月30日（金）～12月29日（日）



大樋美術館

開館時間：9時～17時
観覧料金：一般700円／団体（20名以上）600円／小・中学生500円
〒920-0911 石川県金沢市橋場町2-17
TEL.076-221-2397 FAX.076-221-2123
<http://www.ohimuseum.com/>



色絵菊桐文茶器
野々村仁清（江戸17世紀）



竹一重切花生
小堀遠州（寛永19年（1942））



開館時間：9時30分～17時（受付は16時30分まで）
観覧料金：一般300円／団体（20名以上）250円／65歳以上200円／
高校生以下無料 ※10月1日から料金改定の予定

【交通】（駐車場12台有り）

- ・金沢駅東口3番バス乗場から18系統「東部車庫行」「金沢学院大学行」で「本多町」下車、徒歩3分
- ・金沢駅東口7番バス乗場から城下まち金沢周遊バスで「本多町」下車、徒歩3分
- ・金沢ふらっとバス（菊川ルート）で「ふるさと偉人館」下車、徒歩3分

茶道具と工芸の美術館

金沢市立中村記念美術館

〒920-0964 金沢市本多町3丁目2番29号
TEL.076-221-0751 FAX.076-221-0753
<https://www.kanazawa-museum.jp/nakamura/>

【会期中のイベント】

ギャラリートーク

展覧会の見どころを解説します。

- 開催日時：9月14日（土）11:00～12:00 講師：大樋長左衛門氏（大樋焼十一代）
9月22日（日）14:00～15:00 講師：担当学芸員
10月12日（土）14:00～15:00 講師：担当学芸員
参加費：観覧料金 ※事前の申込は不要

講演会「仙叟宗室について」 スペシャル対談「加賀にまつわる茶碗の謎～ノンコウ・光悦・空中～」

仙叟宗室についての講演会に続いて、加賀にまつわる茶碗を語る対談を開催します。

〔講演会講師〕伊住禮次朗氏（茶道資料館副館長）

〔対談〕伊住禮次朗氏、大樋長左衛門氏

- 会場：金沢歌劇座 2階大集会室
開催日時：10月5日（土）14:00～15:30
定員：100名（先着順）
参加費：500円
申込方法：9月3日（火）より電話（076-221-0751）にてお申込ください

第2土・日は生菓子と抹茶をどうぞ

季節の生菓子を第2土曜と日曜に館内喫茶室にてお召しあげいただけます。
数量限定、無くなり次第終了します。 ※9月、10月は、第二土日に連続する土日にも実施。

- 提供日：9月7日（土）、8日（日）、14日（土）、15日（日）、16日（月・祝）
10月12日（土）、13日（日）、14日（月・祝）

料金：600円
利用時間：10:00～16:30（受付は16:00まで）